

いしかり生きものかけはしプラン（生物多様性地域戦略）の策定について

令和 4 年 3 月

石狩市環境審議会資料

1 策定概要について

別紙のとおり

（いしかり生きものかけはしプラン（生物多様性地域戦略）の策定について）

2 いしかり生きものかけはしプラン検討会の設置について

いしかり生きものかけはしプランの策定にあたっては、研究者や NPO、市民等の参加・連携と生物に関する専門的な知見が必要であり、有識者や市民の皆さまからも広くご意見をいただきながら検討を進める必要がある。

また、石狩市は厚田・浜益区と南北に長い市域を有し、自然環境の異なる地域から成り立ち、それぞれの地域・種によって対策が異なるため、関係所管と調整を図りながら進めていく必要がある。

3 検討会の構成

有識者（研究者や NPO など）や市民等の、計 10 名程度で構成する。

4 検討会の進め方

平成 30 年度から実施している石狩市環境調査の結果・報告から課題等を洗い出し、同時に進めている石狩浜アクションプランとの整合性を図りながら議論をする。

令和 4 年度～プランの素案を作成し、年度末に環境審議会に中間報告。

令和 5 年度～プランの修正案を作成し、環境審議会に中間・素案・原案報告。

5 検討会の日程

6 回程度の開催予定（令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月頃まで）

□ いしかり生きものかけはし プラン（生物多様性地域戦略）の策定について

○策定までの経緯

石狩市環境調査を平成30年から実施し、石狩市は生物多様性が非常に豊かな場所であることが明らかになった。一方で生物多様性の保全に関するための計画がなかったことから、第3次石狩市環境基本計画において計画を策定することと決めました。また、生物多様性国家戦略が令和4年度に改定されるを踏まえ国・道や世界の動向も加味し策定する運びとなりました。

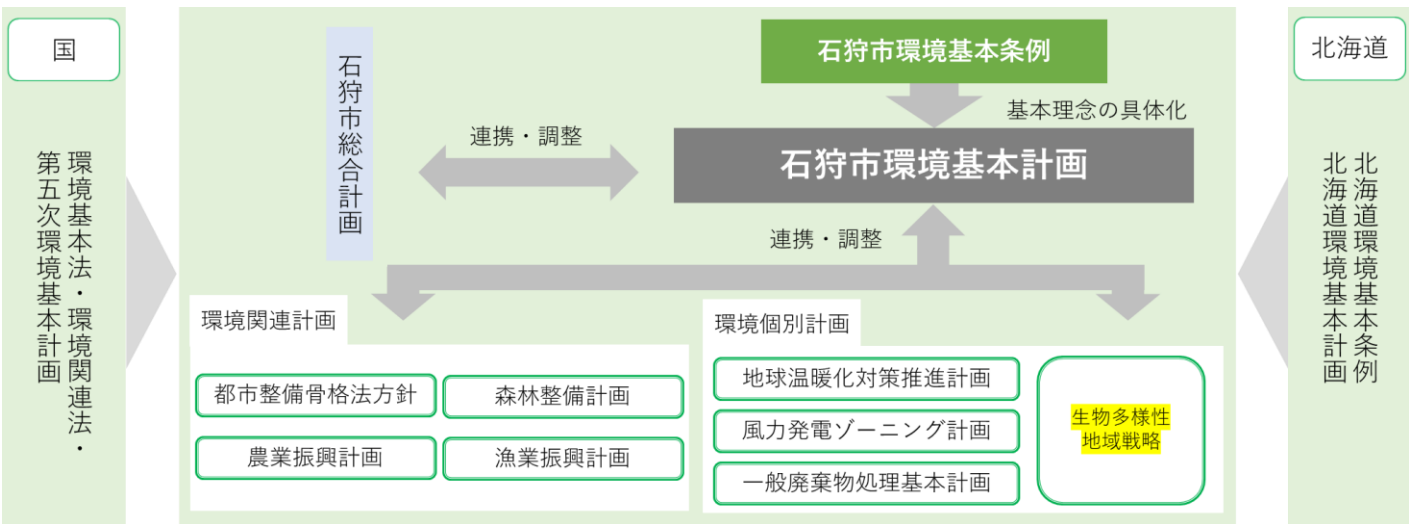
○内容

2040年までに石狩市環境基本計画にて「豊かな自然と多様な生物、そして人とが共生するまち」という長期目標をかがけていることから、南北に広く、海山川の多様な環境にそれぞれ多様な生きものがある環境を自然の特色に合わせて保全していきます。

市全体に共通して守ること、特に対策が必要とする地域・種に関しては個別のアクションプランを定め、色分けをした保全対策を検討していきます。

また、これまで人の立ち入りや知られないことで守ってきた自然を、場所に応じて積極的に知ってもらい、注目度をあげて自らが守りたい場所として考えてもらうきっかけ作りも計画に織り込んでいくことを検討しております。

○位置づけ



いしかり 生きものかけはし

※名称の理由

石狩市が市民と生きもの、生きものと次世代をつなぐための計画である必要があることから、かけはしという名前にしました。生きものがひらがなである理由は、生き物の意味が目に見えているものをさし、生きものは目に見えないものも含めてであることから、目に見えていない生きものとのつながりも大切にしたいという思いを込めてひらがなにしています。また、この名前だと小学生でも読めるので調べたり、考えたりしやすいという思いも込めました。



○工程表（予定）

	令和4年(2022年)												令和5年(2023年)																	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
審議会												中間報告						中間報告						素案報告						原案報告
検討会			1回目				2回目				3回目			4回目				5回目				6回目								
ヒアリング			部会で出た疑問などを審議員以外の専門家に意見を伺う				部会で出た疑問などを審議員以外の専門家に意見を伺う																							
素案の作成	課題整理		素案の作成・修正				素案の作成・修正				修正		修正		修正・パブコメなど				修正											

